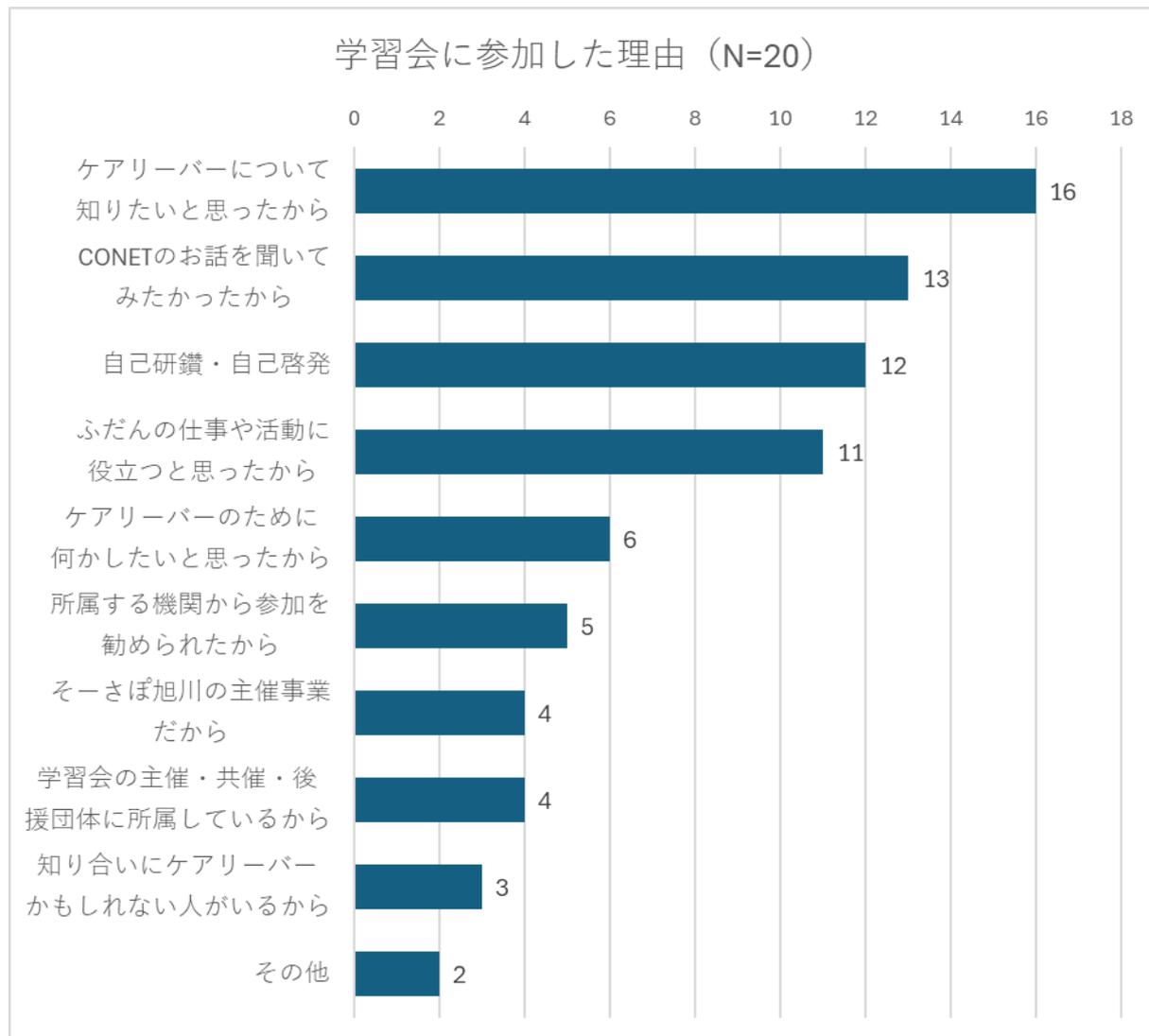


CONET アンケート結果 参加者 45名、回答数 20名、Google フォーム使用

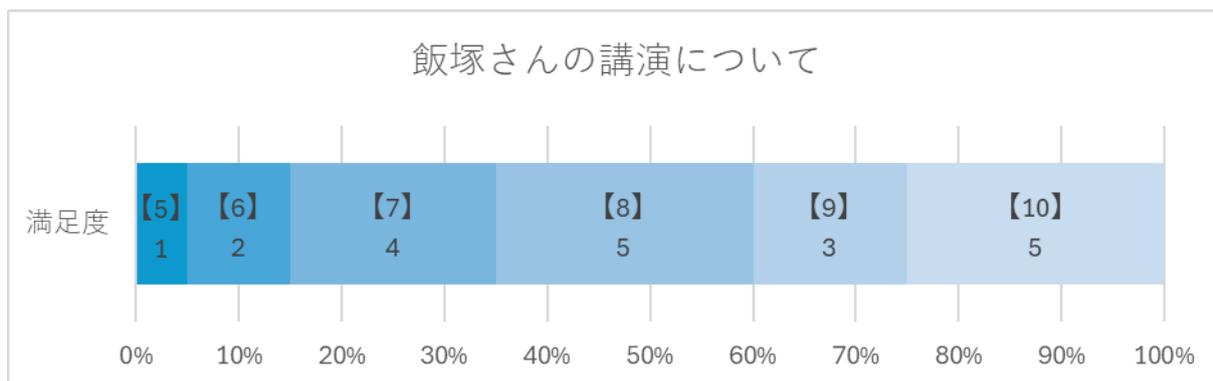
1 学習会に参加した理由に当てはまるものを、すべて選んでください。



(その他2件)

- ・ 主任児童委員仲間から、そーさぼ旭川の学習会の紹介があり、勉強したいと思い参加しました。
- ・ 旭川市のケアリーバーへの取り組みや現状などのお話も聞きたかったから。

2 飯塚さんの講演「おおいた子ども支援ネットの活動について」

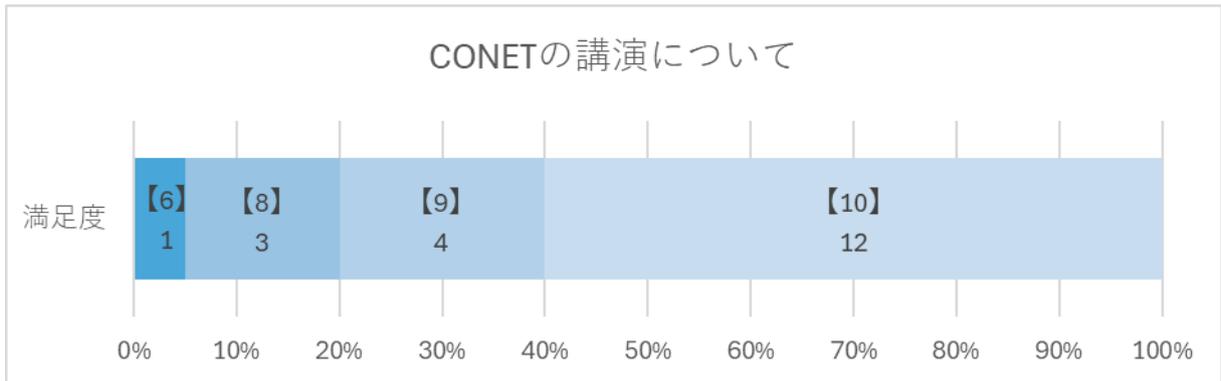


<自由記載 15件>

- ・ 代表 矢野さんの思いが通じてこのように形になった と受け止めました。矢野さんが「全体の流れを見て支援したい」と言われたことが 印象深く、私自身は山の最初にあたる 産前産後ヘルパー事業を行っております。 全てのお母さんがさんが、産後うつや 虐待の可能性を持っていると思ひ、 予防ができたらという意味で立ち上げました。 しかし 残念ながら 部分的な出会いでしかなく、 孤軍奮闘しているところです。 子供は生涯に渡って様々なリスクに合いますが、サポート体制は 縦であって、流れ全体を見通すことはできないと感じておりました。 私も全ての人が関われる場所で平等に出会えていけたらと感じました。
- ・ システムとして確立されて、進んでいると感心しました。これは、不登校児童に対しての活動にも活かせるのではないかと（居場所作り）感じました。とても良い活動を知ることができ有難うございました。
- ・ ライフコースの話は福祉分野ではよく出てくる話だと思います。上流で起きてること、起こる前の未然防止が大切だと考えています。下流に来るまで、傷つく体験を少しでもない状態で支援や手立てに繋がるのができたらと思います。子どもだけが療育やサービスに繋がればいいのではなく、子どもが属するところ、家族がまるごと大切だと思います。繋がりが続けることの大切さを最確認させて頂きました。ありがとうございました。
- ・ まず、スライドがとても見やすくわかりやすかったです。つながり続けることが大事、困っている人が自分から声を上げることは難しい、だから声かけする、そういったアウトリーチを大切にしていることが心に刺さりました。つつい問題解決をしたくなるのですが、ホッとしてもらうを大切にすると私自身も肩に力が入らないなと思いました。
- ・ 専門職に相談するなら、解決して欲しい、現状を変えて欲しいって望んでしまっていたしそうしなきゃいけないのかなあって思っていたけれど、大切にしていることは問題を解決するではなく不安を軽くすることだというお話がよかった。
- ・ 北海道での活動は正直かなり厳しいのが現状です。この4月から社会的養護自立支援拠点事業に変わり、現状札幌にしかありません。でも北海道は広いです。札幌に住んでいる人しか利用できません。それではケアラーのアフターケアは難しいです。国や自治体はその辺をもっと現状を理解してくれなければ大きな変化はまだまだ難しいと思います。ケアラーを始めとして社会的弱者に優しい国になって欲しいと毎日願っております。今日は遠い所ありがとうございました！
- ・ ご講演ありがとうございました。人のライフコースが川として表されるのがとても面白く、興味深かったです。自分の周りはレールや道と表現することが多いため、川の方が視覚的にもわかりやすく、日々の生活や環境、ひとつの出来事が、不登校やいじめや虐待等なんらかの事象につながるの分かりました。人生を歩む中、みな気づいていないかもしれないけれど、毎日危険が潜み、崖っぷちなんだと改めて強く感じました。その中で相手のために、自分を守るためにもなにができるのか考えていきたいです。
- ・ 多様な取り組みの話を知りましたが、各々の拠点でのより詳細な活動内容についても聞きたかった。

- ・ 刺さったワード。つながり続けることが大事、困った時に駆けつけてくれる安心感、仕組みや支援内容など、勉強になりました
- ・ 大分の活動が知れて良かったです。解決よりも、不安を軽くするというお話が印象的でした。
- ・ 活動の紹介や、おおいの現状、ネットワークでの取り組みなど、ご紹介して頂いた講話の分かりやすさと、お話の丁寧さ、とても聞きやすく理解しやすく、自分にとってとても大きな学びとなりました。私個人は、本当に専門職でも何者でもない一般人ですが、こんな私でも何か引っ掛かりを感じて、ケアリーバーの理解を深めたいと強く感じての今回の参加でした。飯塚さんと、川村さん内田さんとの信頼感やつながりの深さみたいなものも、会場で感じとる事ができました。遠方はるばる、この北海道の真ん中旭川市まで皆さんで来て頂いたこと、旭川生まれ旭川育ちの自分にとっては、自分たちが今後も住み良く市民のみんなが温かい明るい暮らしを続けていくために、この問題は今後もっと学び、深く知るべき事なのではと思いました。社会的養護経験者、施設が生活の拠点の子供たちは、きっと本人がそれを望んでその暮らしを始めた子供は少ないのでしょうか。必要にかられて、選択肢がそこしか無かった、生きてくためには必要だった、とても悲しく辛い経験の上、子供たちはそれでも歯をくいしばって笑顔を見せているのでしょうか。何者でもない市民の1人にも、心を寄せる事ができます。大人は知恵と経験と専門的な知識を持っています。支援者のつながりの輪を少しずつ少しずつ広め、気持ちを寄せあい、心を温めて、旭川市の子供たちにも何か手を差しのべる事が必要ではないかなと思う事ができました。感謝します。旭川で、皆さんで旭川グルメを堪能できましたでしょうか？お忙しいとは思いますが、いつかまた、旭川市へお越し下さいね。『CONET 大分』の繋げたつながりが、北海道へも繋がっていく事を願っています。この度は、皆さんありがとうございました。とても心にひびく、深い学びの機会を頂きました。
- ・ 実際、児童養護施設で働いている者として共感できる部分も多かった。
- ・ 24時間テレビで施設退所後の住まいについて話題になっており、特に、児童アフターケアセンターの事業に共感できました。「一緒に考えること、お話を聞くこと」大事だと思います。
- ・ とにかく「安心」を与えることの重要性を痛感しました。
- ・ 大変な労力が、必要だと思います。

3 川村さん、内田さんの講演「CONETの活動について」

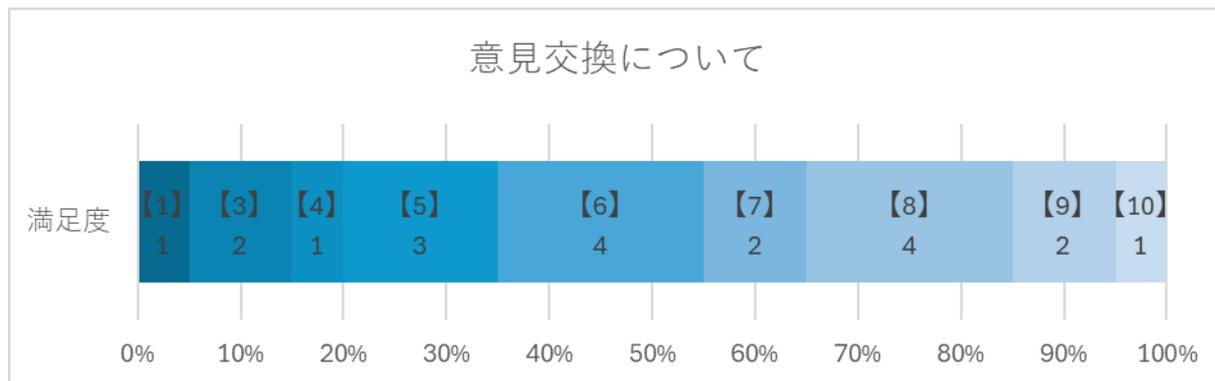


<自由記載 15件>

- ・ やはり 当事者の声というのは聞かなければならないですね。私は若いお母さんに関わる仕事ですが介護分野にも関わってきました。一人一人様々な特性を抱えて生きる時代ですが、平等に出会える場所ができたらと感じました。今回のお話のようにケアリーバーさんに対するのであれば やはり 周りのものが立ち上げていくのではなく ケアリーバーさんが中心となってそこに私たちのようなものが関わっていくという体制が一番いいように感じます。今回お話を伺って私にもできることがあると感じています是非お声かけください
- ・ ケアリーバーの居場所作り、立上げから関わり内容の深いお話が聞けて、本当に参考になりました。相談では無く、雑談から色々な問題や課題解決につなげて、当事者だからこそ分かる心情なども有り、支援者の思いと当事者のギャップ等も理解できるもので、直接聞かせていただき、今後の自分の活動に活かして行きたいと思えます。大変ありがとうございました。
- ・ 「相談所に相談は来ない」は日頃から感じていることでした。そのため周知や外に出て行く機会をつくるようにはしていますが、まだまだと感じています。地域から施設に子どもを送り出すこともある仕事のため、子どもにも親にも正直恨まれてもおかしくない仕事なのかなと、思っています。施設に送り出した数年後、お礼を言いに来てくれた子どもがいました。その時、結婚したこと、離婚したこと、一時保護や施設でのことなど、いろいろなことを話してくれました。その場限りで、繋がりが続けることまではできなかったの、なにか繋がれるツールが地域にあったら、その後のフォローもできたのかなあと思う出来事でした。してあげる、してもらってる関係ではなく、お互いに助け合う関係性、地域から施設に送り出したあとも繋がれる仕組みが北海道にもできたらなあ、改めて思いました。今後も活躍されること、また講演しに来て下さることがあることを楽しみにしております。ありがとうございました。
- ・ 支援者と当事者の認識のズレが、分かりやすいワークの手法でした。もっと当事者の声を聞いていこうと思いました。雑談力の大切さを実感しました。
- ・ 当事者の話を直に聞いて文字だけでは、伝わらなかった気持ちや思いまで感じれてよかったし旭川にも出来たらいいなあと思った。
- ・ 私は普段から卒園生のアフターケアを中心に仕事をしています。そのためケアリーバーの思いも多少は分かっているつもりです。それでも、今回改めて当事者のお話しをお聞きして私自身これからの活動の際には今まで以上に気をつけて子どもたちと接して行かなければと思い直した次第です。ありがとうございました！お互いに頑張っていきましょう。
- ・ ご講演ありがとうございました。特に興味深かったのは、ケアリーバーと支援者のギャップの部分でした。こちらの演習については、ぜひ福祉を学ぶ(そうでなくても)学生たちにして欲しいなと思いました。(自分が学生の時にこの演習をしていたら、自分の考えていたことのギャップを目の前で感じ、忘れられない演習だったと思います。)このギャップの部分は、支援者が当事者の方だとしても、100%埋まることはないかもしれません。それでも、普段の会話などを通して、本人の言葉を表現を少しづつ聞いて、感じて、そのギャップをほんのちょっとずつ埋めていけたらいいのかなと思いました。上記以外にも書ききれない程、沢山学べたこと、感じたこと、考えたことがありました。自分なりに、再度ケアリーバーの現状や地域差等々、様々な方面から考えて学んでいきます。

- ・ 当事者の話しを聞いたのが初めてでたくさん勉強になりました
- ・ お二人とも、お話が上手で、ユーモアもあり、とても分かりやすかったです。
- ・ 川村さん、深い学びとなる活動紹介をありがとうございました。実体験からの寄り添い活動、施設の子供たちへのフォローや助言、等身大でのサポートは、本当にどれだけの子供たちの救いや心の支えとなって居る事でしょうね。川村さん、言葉を沢山持ち合わせて居るのが、素晴らしいです。丁寧な言葉選びで、決して堅苦しくない的確な表現、なんとか現場の想いや自分たちの願いを時間の許す限り伝えて残していきたい…が会場の1番後ろの席で聞いていましたが、きちんとスッと届きました。経験者だからこそ、しんどい思いも乗り越えたからこそ！の強い気持ちもありますよね。どうか、弱いもの、幼い子供たちへの温かい寄り添い活動を、仲間の皆さんとともに今後もひとつひとつ積み重ねて行かれる事を願っております。北海道の真ん中まで足を運んで頂き、感謝します。次回また、旭川グルメをゆっくり楽しみにいらして下さい。北の大地から、旭川市から、この機会が増えたお仲間が、ずっと応援しております！内田さん、私は専門職でも何者でもない、子育て中の訪問ヘルパーのアラフォーおばちゃんです。自己紹介のとき、身長154センチ！とお聞きし、あらっ★同じ！エビ好き★同じく！猫好き★我が家も愛猫3匹★と、みごとシンクロし、雑談から対話へのコミュニケーションとはまさにこの事〜と一気に楽しい気分になりました。ケアリーバーであるあなたの、素直な表現、本音の部分、心の揺れ、そして今立ち上がって伝えて行きたい事、会場のおばちゃんにも、しっかり届きました。個人的に想った事を書かせて下さい。ケアリーバーである若者にだって、将来ステキな出会いが待っています！結婚、出産、育児の道を選び進むにあたり、『母像とは？家族とは？母になる葛藤』そんな不安感は大いなのが正直な所かと想像できます。私は、旭川市の産前産後ヘルパーの職務についてる事から、大分にはそのような公的補助のある、産後ママのケアサポート体制はありますでしょうか？気になりました。困った時には、赤ちゃんを抱えてママの辛さが限界になる前に、少しのお手伝い、寄り添い、傾聴！を活動目標に、仲間のヘルパーと奮闘する日々です。自身も幼い子育て中の身なので、利用者さん目線に立って想像する事ができます。私個人の想いは、自分の産まれ育ち、成長期も反抗期も子育て期も全部を旭川市で生きてきた身として、全国ニュースになるような母子や子供の悲しい事件を今後1件も出したいくないのです。子供の辛いニュースは、苦しいです。うっちー、今回、旭川市でお気に入りグルメは見つかりましたか？またいつか、ゆっくり旅行でいらして下さいね。冬も素敵な町ですが、美味しいお店や絶品スイーツも沢山の街です。この度は、本当に実りのある学びの機会をありがとうございました！
- ・ どのようなつもりで関わっているのかがよく分かる報告でした。
- ・ 活動の事が当事者の方々聞けて良かった。ただ、北海道もしくは旭川として同じように活動するためには現在の仕組みを知るところからスタートする時間が必要と感じた。
- ・ 言葉にエネルギーを感じましたし、とても立派な講演内容だったと思います。何せとても元気をもらいました。私も一緒に成長したいと思いましたので、今後とも陰ながら応援させていただきたいと思いました。あまり頑張り過ぎずに取り組んでほしいです。
- ・ 「相談所に相談は来ない」という言葉が刺さりました。子どもたちとの関わり方に頷くことばかりでした。
- ・ 当事者からの、貴重な話を聞く事ができました。

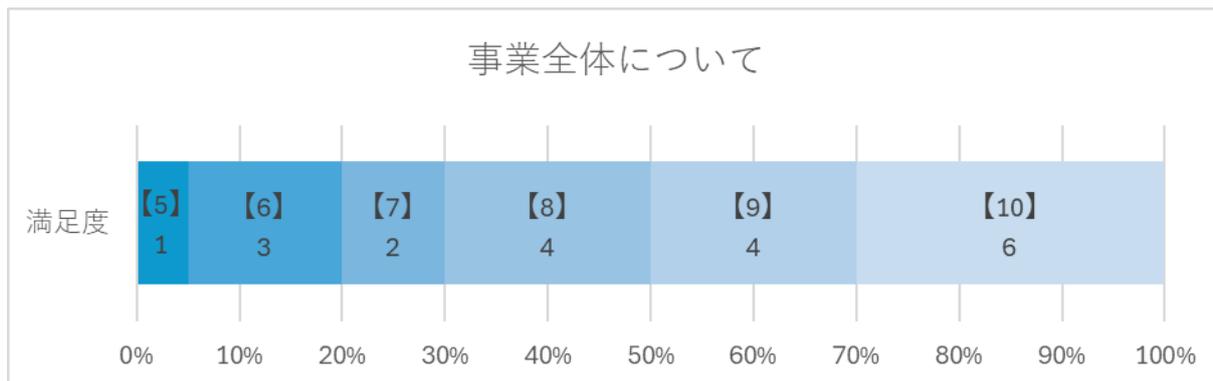
4 参加者間の意見交換



<自由記載 18件>

- ・ ワールドカフェ、スムーズですね。考えた人はエライ！
- ・ とても濃い内容なので、お話し合いをするにはあまりにも時間が足りませんでした。3つのテーブルに席替えをするのではなく一つのテーブルでじっくりお話ししても良かったと思います。
- ・ 内容的に濃い話になるので、大変意義深いものでした。ただ時間がもう少し欲しかったと思いました。
- ・ 多職種のかたとの交流する場を設けていただき、ありがとうございました。もっといろんな立場の方、グループの話を聞けたらと思いました。
- ・ もっと話したかったです
- ・ 意見交換の時間は短かったけど3つのグループの話を聞いてよかった！
- ・ この時間が重要だと思いました。もっと時間が欲しかったです。
- ・ 模造紙の活用の難しさを感じました。文章だけでなく、文字が大きくても小さくてもたくさんキーワードや矢印や絵が増えていたらさらに議論が活発により良いものになったのではないかと。ガムテープ等にニックネーム(本名は関係なくても良い)を書いて貼ってみると、自己紹介が若干短くなり、議論の時間を多く取れるのではないかと思います。
- ・ 時間が短すぎました。自己紹介だけで話がほぼ終わってしまいました。
- ・ 最近はこの形で開催するのが主流なのでしょうか？ちょっと戸惑っていた方もいたようですが結果的には良かったと思います。席が代わるのもいいのかなと思いますがもう少し話せる時間があつた方がいいような気もしました
- ・ もう少し話す時間があると良かったです。
- ・ 模造紙が広げてあって、自由に記入スタイルは初めての経験でした！初対面の参加者が、自由に書いたりメモしたり、とてもより良い学びと気づきの時間になりますね！自分たちの研修でも、取り組んでみたいと思いました。
- ・ 模造紙使って意見交換をするには時間が短すぎたと思います。また、グループのモデレーターのなれ不慣れもあると思いますが、運用のよくなさで意見交換にならなかったグループもありました。
- ・ 時間が少なかった。
- ・ 時間がタイトでしたが、たくさんの方と話を聞くことができました。逆にまとめることができなかったこと、模造紙への記入が雑になってしまい、申し訳なく思っています。もう少し長い時間を確保できれば良かったと思います。
- ・ あまりに慌ただしくて、意見交換になっていたのか疑問でした。
- ・ 時間の都合で、参加しておりません。
- ・ 時間が短く、お聞きしたかった話が途中になってしまったのが残念でした。

5 事業全体



<自由記載 15件>

- ・ すばらしい
- ・ ケアリーバー さんのお話を直接伺うことができたことが本当に良かったと思います。知ることとはとても大切で、仲間づくりにも大事な場所だと感じました。一番困ったのは寒かったことでした。話し合いの時間がゆったりとしていると 良かったと思います。
- ・ 2度目の勉強会の参加ですがとても良い勉強をさせて頂きました。ありがとうございました。
- ・ 参加者の名簿があればと思いました。このような機会をつくっていただき、ありがとうございました。
- ・ 素敵なお話をありがとうございました。お疲れ様でした。旭川には CONET みたいな所はあるのだろうか？と考えていたのですが、帰り道にそーさぼさんがそういう団体になろうとしているのかな？とふと思いました。大分の話聞いて旭川は？北海道はどうなんだろう？という疑問が随所に出たので、旭川や北海道の情報も知りたかったです。
- ・ この様な機会を設けていただき、感謝いたします。忙しかったと思いますのでゆっくり休んでください。
- ・ コネットの活動は素晴らしいと思います。意見交換の中でそれを礼賛する方がたくさんいました。一方で当事者が声を上げないと支援者や制度は変わらないのだからかという意見があり、もっともだと思いました。
- ・ お疲れ様です。CONET の方々が旭川に来て頂くことが第一目的のように映り、旭川でのケアリーバーの人数や当事者からの話などなどの前情報の紹介も無く、先方の取り組みの紹介だけでこれは昨年の研修とそんなに変化が無いように感じました。ケアリーバーへの支援を手厚くする目的や社会的必要性は感じられたものの、「若者支援」という枠組みさえ無いこの地でケアリーバーへの支援は少し飛躍しているとも感じます。改めて、そーさぼ旭川の存在意義は何なのか？今回の活動結果は誰へどこに訴え、何を期待するものなのか？と、日が経つにつれ感じています。
- ・ 様々な職種の方がたくさん参加されていてこういう活動があることも知らなかったのていろいろと勉強になりました。ありがとうございました
- ・ CONET を、本当に旭川に呼んでくださり、ありがとうございます！魅力的かつ、参考になるお話でした。
- ・ CONET から3人来て頂いていたので、最後に全体と3人のやり取りよりは、グループでの意見交換の時間で3人に関わられるような形に出来ると良かったと思います。CONET の活動は素晴らしいと思いますが、それを支援者や行政の方がもっと当事者たちに寄り添うような意識になることは出来ないのだろうかと感じました。
- ・ そーさぼさんの活動にもっと参加したいと思っておりますが、今年は、この度がお初でした。時間を作って参加したいと思っております。
- ・ 参加している方たちのご意見をもっと伺いたかったです。

- ・ 北海道でも、社会的養護自立支援拠点事業を受託している団体があります。道全体を対象にしている事業なので、細やかに支援できるかわかりませんが、今後、具体的事業の実施状況を聞く機会があれば良いのかと思います。何かお役に立てることがあれば、ご連絡ください。児相の職員です。
- ・ 今後も継続的に、参加型の学習会等の開催をお願いいたします。